

## 山行記録

## 摂津 竜王山・摂津峡

|         |                |
|---------|----------------|
| 年月日     | 2024年1月8日(月、祝) |
| 天気      | 晴れ時々曇り         |
| 集合場所・時間 | JR 芦屋 8時30分    |
| 参加人数    | 24名            |
| 歩行時間・距離 | 4時間15分 11km    |
| 費用      | 2120円          |

## コースタイム

忍頂寺 BS10:10~10:25 寿命院(体操) 10:40~10:55 宝池寺(お参り・トイレ) 11:10~11:25 竜王山(昼食) 11:55~13:05 車作大橋 13:10~13:35 竜仙の滝 13:40~14:45 萩谷運動公園(トイレ) 14:55~15:05 萩谷・摂津峡分岐~15:20 白滝 15:25~摂津峡~15:45 上ノ口 BS

## 感想

日曜からの冷え込みが心配で参加者も少ないかという予測が幸い?にも外れて、何とビジター4名を含む24名が阪急・JRを利用して集合。祝日なので学生他一般客が少なく絶対座れると期待していたバスには、ルベール以外にも10名の山歩きグループ(Aさんが昔所属していた自然大学の山歩き会とか)が乗っていて超満員の状態で40分近く揺れながら登山口近くの忍頂寺バス停に到着。駅や途中の車窓からは成人の日の二十の集いに参列する振り袖姿のお嬢さんがたくさん見掛けられ嬉しそうでこちらも幸せな気分。

東海自然歩道は箕面から東京・高尾まで11都道府県・1734kmの自然豊かなハイキングコースで、今回はその西端近くのほんの一部を歩きます。忍頂寺バス停(標高312m)から少し歩いて門松が何個も置かれて正月ムードいっぱいの寿命院境内でいつもの体操のお兄さん?の指導で寒さに固まっている身体をほぐして出発。

歩き始めてさっそく結構長くきつい参道があり丁石を数えながらフーフー息をきらして半時間で竜神を祭る宝池寺に到着。休憩所には信徒の方が無料の飲物とお菓子を置かれていたのでお参りのあと何人かがそれをいただく。ゆっくり休んで出発後15分で今年の干支の山、竜王山(509.8m、三角点見つからず)の展望台に着いた。ちょっと早い時折チラチラ雪が舞う中ランチとする。5階建ての展望台から右手奥には葛城・金剛が見え(いつもと見る角度が違うのでわかり難い)左手には京都方面が見える(らしい)。

寒いので食べ終わるとさっそく出発。ここからは下りで足元に注意してどんどん進み、途中大きな割れ目のある不動岩を過ぎ林道を経由して車作集落に到着。この名の通り平安時代には御所車とかを作っていたらしい(誰かがトヨタの先輩や!とか)。川が合流する車作大橋で休憩のあと車が行き来する一般道を一列縦隊で暫く歩き山道へ。ここから結構きつい登りで、岩がごろごろしちょっとした渡渉もあり足が中々上がらない。このコースで有名な竜仙滝は残念ながら水不足で白糸レベル。更に急な山道を登り峠を越えたあと杉林を下って漸く萩谷の集落に到着。灰色の屋根が多く見かけられたので住民に聞くと茅葺の上に瓦の形に似せた鉄板で覆ったもので瓦ではないとか。のどかな風景!更に下って萩谷総合公園のサッカー場に到着。休日で親子連れが多く歓声が聞こえる。

トイレを済ませてここからバスに乗る組と摂津峡行きのもちらかの希望を聞く。先週4日の正月足慣らし会に参加した人も含め、今回は長距離で結構脚に来ているようで、10名が最寄りの萩谷月見台BSから帰るとのこと。バスの時間に間に合わせるべくさっそく急い

で出発。10分ほどで萩谷・撰津峡の分岐に到着し手を振って別れを告げたが、バス組は半時間ほどで停留所に到着し無事バスの出発に間に合った（ことでしょう。確認せずすみません！）。

撰津峡組は雑木林を抜け川沿いを15分程歩いた所で見えてきたのはしっかり水量のある白滝で、さっそく写真撮影。この辺りからが風光明媚な撰津峡だがバスの時間が気になるので先を急ぐ。行者橋を左に折れ芥川沿いに夫婦岩・屏風岩といった大きな岩が続く峡谷をゆっくり眺める暇もなく進み一般道に出た。いい匂いがしてきたと思ったら右手の河原で多くの家族連れがバーベキュー中。ニジマス・イワナの放流釣り場だった。バスの出発時間まであと数分。バスが見えたので疲れた足にむち打ち最後は駆け足で上ノ口停留所に到着、間一髪間に合いました。

それぞれのグループで反省会をされたかどうかわかりませんが、新年初ハイク、お疲れさまでした！ 夜間氷点下の地域なのでアイゼンも必要かとの助言をしましたが、メールを見て参加を見送った皆さん、すみません！雨が降ってないためか行程中殆ど凍っておらず使いませんでした。

長距離を歩いたためか記録も長くなってしまいました。併せてお詫びします。